

画像のサイズ変更について（縮専用の利用）

デジカメで撮った写真はサイズが大きいので細密な画像が得られます。

プリントアウトする場合や、一部トリミングして利用する場合などは綺麗に仕上がります。600万画素のカメラで、3,600ピクセル以上のサイズとなり、横幅が70～80cmにもなり、1枚が1.5Mb～2.5Mbの大きさなので、部分的に切り取って拡大表示する場合にも綺麗に映ります。（カメラの設定により更に大きな画像も得られます。）

一方ワードなどの文書に挿入する場合や、ホームページ、ブログ、ムービーなどに利用するには一辺のサイズが1,000ピクセル、大きさが200Kbもあれば十分です。（名刺サイズの画像なら50Kb程度です。）

PCの上では自動的に画面の大きさに合わせて縮小して表示されますが、相当なメモリーを消費していることとなります。ムービーメーカーの動作が非常に遅くなるのもその所為です。（同時に数十枚の写真を縮小しながらプレビューするため）

一枚だけの利用ならあまり問題にはなりません。多くの画像を利用するムービーメーカーの利用などには事前にデジカメ画像を縮小しておいて利用することが重要になります。

縮小専用というソフトがあり、これを利用すると複数の画像ファイルを一齐に指定するサイズに縮小することが出来ます。

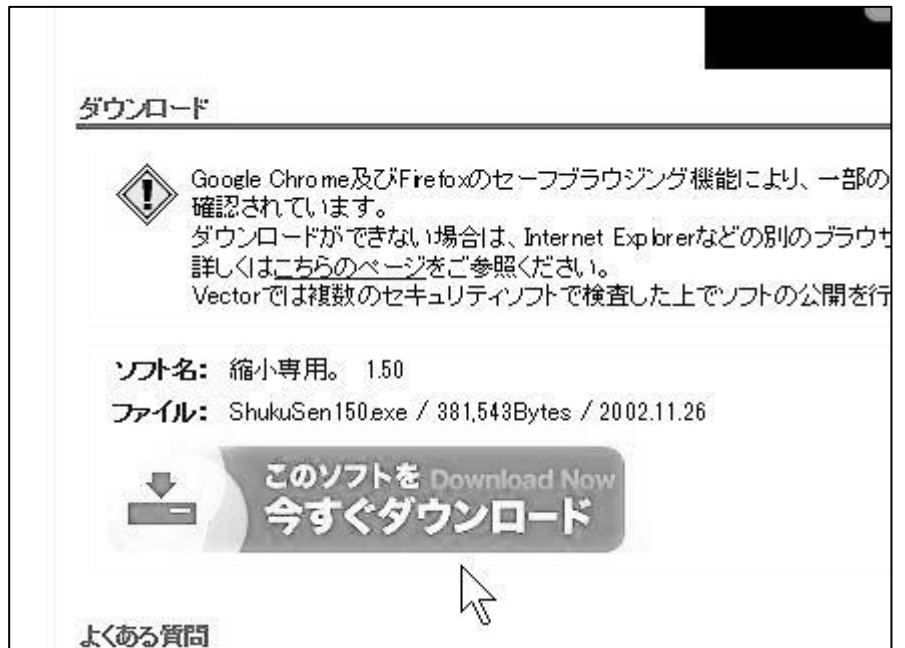
1. ベクターから 縮小専用をダウンロードする

グーグル検索で 縮小専用 と入力して検索 → 「縮小専用のダウンロード ベクターソフトを探す」 から ページを開く



ページが開いたら、「このソフトを今すぐダウンロード」から

ダウンロードが完了すると「実行する」か「保存する」なのかを選択するよう、ページの下からポップアップが出るので、「実行する」を選ぶ。



2. インストールが完了するとデスクトップ（もしくは小さいアイコンのページ）に右のショートカットが作成される。



（縮専利用法）

クリックすると、右図のソフト縮小専用が起動する。

まず 縮小するサイズを選ぶ。

（ちなみに 右図の画像サイズは横が506ピクセルです。）



オプションで

画像をくっきり と JPEG 量子化率を90%程度に その他は必要に応じて。カラーを無しにして白黒画像にする場合は モノクロで保存する にしましょう。

右側の 変換後の保存は 同じフォルダの中に 名前を変えて保存する(s-をファイル名の前に追加する)か、別フォルダ（Resized）を作って保存するかの

選択です。

「フォルダを作ってその中に保存する」を選ぶのが良いと思います。

画像ファイルを複数もしくは全部の写真を選んでから、「画像ファイルをここにドラッグ&ドロップしてください」と言う場所までクリックしたままで移動し（ドラッグ）クリックを放す（ドロップ）と縮小が始まります。

上図の通りの設定で 縮小すると 元ファイルと 同じフォルダに 「Resize」という別フォルダが作成されて 1024ピクセルのサイズに縮小された画像が保存されています。

なお、一度設定をしたら変更するまで同じ設定なので、ソフトを開かないでアイコンの上までドラッグしてドロップしても同じ効果が得られます。なお、ドラッグ&ドロップする場合はファイルが当該場所へ届いてからではなく、移動していくポインターが目的場所の上へ到着した時に有効になる。

ワード文書に小さい画像「名刺サイズ」を4枚挿入した1ページの大きさは、縮小していない画像を使った場合には5Mbにもなりますが、縮小した画像を利用した場合には500Kb程度と10分の1に小さくなります。見た目にもプリントアウトした場合でも何らの違いありませんが、PC上の重さは10分の1なのです。当然パソコンの負担も小さくなるので、ムービーメーカーの利用などで多くの画像を利用する場合には処理スピードが大きく違ってきます。

ホームページやブログに利用する場合でも同じで、見えている画像のサイズが同じなのに大きさ（重さ）が違うことはPCに負担をかけるだけですので、縮小してから利用するように心がけましょう。

一部切り取って(トリミングして)利用する場合と、大きな用紙一杯にプリントする場合などには縮小する前の画像を利用しましょう。

ドラッグ&ドロップの手法で行うので、縮小前の元フォルダーと「縮専」を両方見えるように並べて開くのがポイントです。全画面で利用する場合にはこの手法は使えません。

以上